



校長室の窓から

《校長だより》

神奈川県立市ケ尾高等学校

校長 増淵 広美

平成28年4月28日

第13号

✚ 努力することの本当の意味 ～能力をどこまで発揮させるか～

市高の朝は、朝練の気合いの入ったかけ声やきびきびとした練習の風景で始まります。何事にも一生懸命に取り組む市高らしい、実に清々しい一日の始まりです。

早いもので今年度も1か月が経とうとしています。皆さんは、学年が進み、それぞれの学年にふさわしい決意や目標を持って新たな年度を迎えたことと思います。今、その決意や目標に向かって着実に歩みを進めることができていますか。ゴールデンウィークを前にこの1か月をしっかりと振り返り、順調であれば引き続き着実な積み重ねを、そして、必要があればためらうことなく軌道修正をし、今後の充実した時間や活動につなげてください。

さて、昨年度、私は1年間をとおして、機会があるたびに皆さんの持つ「無限の可能性」に言及し、「より高きを目指せ!」というメッセージを送り、励まし続けてきました。日ごろの皆さんを見ているとまさに「可能性の塊(かたまり)」。今年度も、「より高き」を目指して自らの壁を打ち破り、進化、向上し続けてください。

私の心に残ることばの一つに、京都大学第16代総長である平澤 興(こう)先生(明治33(1900)年～平成元(1989)年)の「努力することの本当の意味は人に勝つということではなく、天から与えられた能力をどこまで発揮させるかにある」ということばがあります。その道を深め、究めた方にとっても味わい深いことばです。また、最近、ある本で、優れた医学者であり、脳神経解剖学の世界的な権威でもある平澤先生が、その晩年、家庭教育の普及活動に力を尽くされ、各地での講演で最も力説されたことは「人間には、無限の可能性がある」ということ、そして、

「人間には140億個の神経細胞があるが、それを全部使い切ったものは一人もいない」ことを強調され、学習の努力こそが、人間の可能性を伸ばすことだと説かれていたことを知り、我が意を得た思いがします。

市高生の皆さん、今年度も、高い理想と志を抱き、果敢に挑戦してください。皆さんが自分の持つ可能性をどんどん切り拓き、存分に力を発揮してくれることを大いに期待しています。

◆◆ 凡事徹底 ～当たり前のおろそかにしない～

4月5日(火)の始業式では、書道部の木原智子さん(2年)が心を込めて書いてくれた書を掲げ、「凡事徹底」ということばを紹介しました。それは、人間としての真髄がしっかりとしていればいかに、本来持っている力を存分に発揮し、大きな成功や成長に結びつくからです。

「凡事徹底」とは、読んで字のごとく、「凡事」(何でもないような当たり前のこと)を「徹底」して行うこと。さらには、当たり前のことを極めて他人の追随を許さないという意味にもつながります。

今年度は、「より高きを目指す」ことに加え、この「凡事徹底」、当たり前のことを決しておろそかにせず徹底する、そして、それを継続するということを意識して、様々なことに取り組んでください。簡単なようで決して易しいことではありませんが、徹底することをとおして資質・能力が着実に磨かれ、堅固な精神が身につきます。また、徹底するためには「気づく」ことが必要です。そして、「気づく力」はさらなる可能性を広げてくれます。

高校生の当たり前は、何と言っても勉強。中でも「授業」と「教科書」は基本中の基本。基本あつての「発展」、「探究」です。是非、授業と教科書の勉強を大切に、徹底してください。基礎・基本がどれだけ確実に身につけているかということが、成績の伸びや進路実現を左右します。さらに、それを支える基本的な生活習慣。これも大切です。学校生活では、まずは、社会人としての基本でもある「み(身だしなみ)・そ(掃除)・あ(あいさつ)・じ(時間管理)」を徹底してください。毎日の生活の中で、当たり前のことにも真摯に取り組み、基礎・基本を固めてこそ、生涯に通じる揺るぎない姿勢と力を身につけることができます。

✚ 高校時代に大切にしてほしい三つのこと ～知的好奇心・感動する心・挑戦～

1年生の皆さん、高校生活にもだいぶ慣れましたか。すでに部活や委員会などの活動を始めている人も多いと思います。人は経験することで成長します。是非、部活動や委員会、生徒会活動など校内の様々な活動に積極的に参加するとともに、インターンシップやボランティアなど、学校外での学びの機会を生かし、様々な経験、多くの人との出会いをとおして、自分と向き合い、バランスのとれた成長につなげてください。



昨年度4月から始まった「今日の英単語」も200語を超えました



今年度は、昇降口の掲示板に「センター数学今日の1問」が登場!



始業式にて

高校時代は、子どもから大人へと精神的に大きく成長する、人生の中でもとりわけ大切な時期です。それは、「自分とはどんな人間なのか」「何をやりたいのか」などと悩み、迷いながらも、徐々に自己を確立し、一人の人間としての自立を目指す時期だからです。入学式では、そんな高校時代に大切にしてほしい三つのことについてお話をしました。今回は、2、3年生の皆さんにも伝えたいと思います。



花株の生長とともに黄色いハートも「大きな愛」に育ちました

一つは「知的好奇心」です。高校での学びは、中学校での学びを基礎に、学びの幅が格段に広がります。しかし、学校での学びは、ほんの始まりに過ぎません。学びをさらに広げ、深めていくのが知的好奇心であり、皆さん自身です。なぜだろうという疑問、知りたいという探究心を抱き、知る喜び、新しい世界と出遭う喜びを大いに楽しんでください。その中で、一生をかけて究めていこうと思えるものに出遭うかもしれません。また、知的好奇心は、生涯にわたって学び続け、成長し続けるための原動力になります。そんな知的好奇心を大切にしてください。

二つめは「感動する心」です。今、「ナノマシン」の研究で世界中から注目される日本人の研究者がいます。東京大学大学院教授の片岡一則先生です。片岡先生の研究は、50 ナノメートル、だいたい髪の毛一本の太さの一千分の一、ウイルスと同じぐらいの大きさのナノマシンの内部に抗がん剤を閉じ込め、がん細胞にピンポイントでたどり着いて効力を発揮する、しかも副作用のない、夢のような医療です。

片岡先生がこの研究について語る時、高校生の時にとっても感動したSF映画のことを話されていたのが強く印象に残っています。その映画『ミクロの決死圏』の中では、医者とその乗り物をもものすごく小さくして血管の中に送り込み、患部まで行って体の中から病気を治してしまいます。片岡先生の研究は、まさに感動した映画に描かれていた世界を科学的、医学的に実現するものです。感動は、憧れにつながり、それは、いつか夢や目標につながります。是非、感動する心を大切にしてください。

三つめは、「挑戦」です。皆さんは、豊かな資質と能力に恵まれた人たちです。そして、皆さんには無限の可能性があります。しかし、無難なことに留まっていたら決して可能性は広がりません。失敗を恐れず、新たなこと、夢や高い目標にどんどん挑戦してください。困難なことでも全力を尽くして小さな目標を積み重ねていけば、必ず大きな目標を達成することができます。たとえ、失敗しても、そこで諦めずに工夫と挑戦を続けるならば、それは成功や達成のための通過点です。

「知的好奇心」「感動する心」「挑戦」、この三つを全ての市高の仲間と共有してください。そして、互いを認め合い、高め合い、夢や目標を語り合い、一度しかない高校時代を、心の底から「市高最高！」と言える充実した時間にしてください。

■ 新入生歓迎会に寄せて
～実行委員長メッセージ～

市高最高！

今年も感動の新入生歓迎会が4月7日（木）の午前中に行われました。何か月もの時間をかけて創り上げただけに様々な工夫が凝らされ、実に見応えがあります。新入生 396 名にも、先輩たちの熱い思いが伝わったことと思います。今回は、実行委員長の小山菜々実さん（3年）のメッセージをお届けします。.....

☘「皆さん、新入生歓迎会は楽しんでいただけましたか？ 私たち新歓 CORE は、約半年をかけて準備してきました。パソコンの操作をほとんどしたことがない人いる中での企画書作りから始まり、打合せやパンフレット作り、機材をたくさんそろえてもらって本格的になった

照明の操作、そして今年は初めてオープニングパフォーマンスも取り入れました。オープニングパフォーマンスは、企画内容がなかなか固まらず、春休み直前に慌てて出演依頼をしたので、どうなるかもの凄く不安でドキドキしましたが、あんなにかっこいい盛り上がる作品を作ってくれた出演者の皆さんには、本当に感謝しています。



書道パフォーマンス



完成です！

また、打合せをたくさんしたにも関わらず、上手くいかなかったり、落ち込むこともありましたが、何とか形にできたのは、CORE のメンバーが一生懸命仕事をしてくれたり、先輩や後輩が「頑張れ！」「大丈夫だよ！」などと声をかけてくれたりしたこと、そして、みんなが1年間で一番最初の行事を思い出に残るものにした！楽しいものにした！という熱い思いを持っていたからだと思います。だから、新入生はもちろん、在校生の思い出にもなってくれたらとても嬉しいです。



ソフトボール部の紹介

出演者の皆さん、運営の皆さん、先生方、そして『市高生！』また、来年、楽しみにしててください。」☘

■ 神奈川県高等学校総合体育大会開会式

～生徒会本部役員が参加 堂々の行進！～

4月23日（土）の10時30分から、県立体育センター陸上競技場で第54回神奈川県高等学校総合体育大会の開会式が行われました。今年度の行進参加は188校、2,982名。本校からは、生徒会役員7名が参加。人数は決して多くはありませんが、明るい笑顔で堂々とした行進でした。さあ、いよいよ神奈川県の高校生の熱戦が繰り広げられる高校総体の開幕です！



本校生徒が笑顔で行進